

News Release

平成 21 年 6 月 26 日

報道関係各位

クインタイルズ

マラリア、HIV、結核などの臨床試験のマネジメント能力強化

野口記念医学研究所と提携し、ガーナに新たにオフィスを開設

クインタイルズ・トランスナショナル・コーポレーション（本社：米国ノースカロライナ州、会長兼 CEO：デニス・ギリングス）は、サハラ砂漠以南の西アフリカで実施される臨床試験が増加していることに伴い、モニタリングの効率および能力を向上させるため、ガーナのアクラに新たにオフィスを開設したと発表しました。

ガーナにおけるクインタイルズのオフィスの開設により、周辺の西アフリカ諸国に利便性をもたらし、現在進行中の大規模なマラリアワクチンの臨床試験のモニタリングを円滑に実施できるようになります。

新しいガーナのオフィスは、ガーナ大学の野口記念医学研究所内に設置されました。この新拠点の開設にあたり、クインタイルズは同研究所所長であるアレックス・ニャルコ教授と協力し取り組んできました。今後もこの連携は継続していきます。また、感染症研究において 30 年以上の経験を有する同研究所の専門医であるデビッド・オフォーリ・アジェイ教授とクインタイルズは提携施設契約を締結しました。

同研究所との契約の一環として、クインタイルズは幅広い治療分野において新任の治験医師を対象としたトレーニングおよび治験モニターを対象としたトレーニングを提供していきます。

クインタイルズ・アフリカの最高経営責任者（CEO）であるジリアン・コーケンは次のように述べています。「今回のオフィスの開設によって、推定人口 7 億 6,000 万人のサハラ以南のアフリカにおける患者を対象にできることになり大きな機会がもたらされます。当面は、マラリア、結核、HIV のような疾病に焦点を当てます。ただし、これまで他の多くの新興地域のように、アフリカにおけるインフラや経済が発展すれば、癌や心血管のような他の疾病領域においても被験者を募集するようになり、この新しいオフィスが果たす役割はますます重要になるでしょう。」

コーケンはさらに「南アフリカにおいて、クインタイルズはすでに事業を確立し成功を取っています。現在、臨床開発、薬事、提携治験施設、データマネジメント、生物統計、臨床検査、また営業・マーケティングのサポート業務など幅広いサービスを提供しています。」とコメントしています。

ニャルコ教授は次のように述べています。「私たちはクインタイルズのような企業と提携できたことを光栄に思っています。私たちには、臨床開発を実施し、優れた新薬の開発に関与するための臨床知識、インフラ、そしてリソースがあります。クインタイルズとの提携により、臨床開発における専門知識を吸収して私たちの能力をより向上させることができます。画期的な小児マラリアの臨床試験に関し、私たちはすでにクインタイルズと共同でサハラ以南7カ国において1万6,000人以上の患者を対象としたプログラムを実施し取り組んでいます。」

アフリカで臨床試験を実施する際、クインタイルズは同社が事業展開している50カ国以上の国々すべてで導入されているものと同じ指針および手順を適用しています。患者を第一に優先するという点は、クインタイルズのあらゆる活動の中核を示す指針です。どの国においても、クインタイルズはICH（日米EU医薬品規制調和国際会議）、ヘルシンキ宣言、CIOMS（国際医科学評議会）およびベルмонт・レポートなどの国際的なガイドラインに明記された倫理原則を厳守しています。あらゆる国際的なガイドラインを遵守することに加えて、クインタイルズは患者の安全を守るために広範囲に及ぶ独自の企業指針および手順を策定しています。

*

米国クインタイルズ

クインタイルズは、医薬品やバイオ製品などの臨床開発、営業・マーケティング、コンサルティング及び投資ソリューションにおいて総合的なサービスを提供する企業です。世界50カ国以上に23,000人の従業員を擁し、患者さん、安全性、倫理に対し確固たるコミットメントを持って業務に専心しています。クインタイルズは、変貌を遂げる時代環境の中で、リスクを管理し機会を捉えるために世界中の製薬・バイオ企業を支援しています。詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.quintiles.com>

*

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします
クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社
広報部 林 秀樹

電話：03-3531-9628/FAX：03-3531-9151（携帯：090-5360-5008）

Email：hideki.hayashi@quintiles.com